

2022年（R4年）度活動報告

ウクライナ避難民支援活動について

公益財団法人 大阪国際交流センター

ウクライナ避難民支援の取組み

避難民



支援施策



大阪市

- 全区に相談窓口設置
- 支援金の支給
(世帯あたり50万円、単身30万円)
- 市営住宅の無償提供 (50戸)
(生活家電: エアコン、ガスコンロ等
(株)エディオンより
(生活物品: 消耗品等 (コーナン商事株)より)
- ホテルの無償提供
(大阪国際交流センターホテル)
- ポケットクWの提供 (ポケットク株より)

- 学校受入れ (小・中学校)
- 国民健康保険料・介護保険料等減免

財団の役割

- 大阪市とともに、避難民支援センターを運営
- ・相談窓口
 - ・支援金、市営住宅申請案内
 - ・ホテルの一時滞在支援
 - ・在留資格変更、区役所での手続き申請サポート
 - ・買い物同行、日本語学習案内等生活サポート
 - ・ウクライナ人コミュニティ設立、運営支援

<財源>

大阪市



日本財団

1 ウクライナ人コミュニティ交流会

4. R4年度 ウクライナ避難民交流会 (6/19~2/19) 計11回 (定例7回+単発4回)

(定例会：ウクライナ避難民&在住ウクライナ人が企画運営し、毎回楽しいイベントを開催。各回平均55名参加)

(単発会：支援団体などと共催にて実施。アーティストファンミーティング、冬バーベキュー、交通安全指導、キャンドルナイトなど)



第3回 向日葵の絵コンテスト



第6回 ウクライナのクリスマスパーティー



第7回 ウクライナの立春祝い「マースラナ」



単発会 ウクライナの国民的アーティスト
KAZKA ファンミーティング



冬バーベキュー



キャンドルナイト (2/24)

2 日本語学習支援

3. R4年度 日本語学習支援

- ① 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）と連携 30名（対面とオンラインにて実施）週5日全51日
- ② 地域の日本語教室 12名（対面）※避難民が多く暮らす市営住宅集会議場で週2回開催（6カ月コース）



- ①**独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）**
レベルに合わせたクラスで、日本語を学習するウクライナ避難民。

- ②**地域の日本語日本語教室**
ご高齢や小さなお子様のいる方でも通いやすいように、市営住宅の集会所にて開催。

3 生活支援

1. ウクライナ関連相談件数 545件(R4年度：R4/5/25～R5/3/31)

2. 生活支援：通訳・翻訳・同行通訳・同行支援、など ※財団職員対応も含む
(R4年度) 88件 (うち同行通訳10件、同行支援4件)



生活支援：財団スタッフ（左）がウクライナ避難民の生活相談にロシア語で対応。



同行通訳：区役所にて、子どもの入園・入学手続きの通訳支援。



同行支援：財団スタッフ（左）もウクライナ避難民親子の通院へ同行するなど支援に携わる。
病院の通訳ボランティア（右）さんと。

詳細は、アニュアルレポートでもご覧いただけます。

https://www.ih-osaka.or.jp/wp-content/uploads/2022/04/annual_report_2022-HP%E7%94%A8.pdf

ウクライナ人コミュニティ交流会の様子を一部、
Facebookに掲載しております。

[\(公財\) 大阪国際交流センターFacebook](#)